

「校区コミュニティバスの取り組み」

～子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくり～

糸島市立福吉公民館 館長 森田 季久

1. 事業名 …… 福吉校区自主運行バス事業

2. 事業の目的

校区における自主的な乗合自動車の運行を行うことによって、校区住民の生活交通手段を確保し、もって地域の活性化及び福祉の向上を図ることを目的とする。

3. 事業の実施主体 …… 福吉校区自主運行バス協議会

4. 連携・協力機関・団体等 …… 糸島市企画部地域振興課



5. 事業予算

平成24年度予算額 528,764円

- ・収入 → 市共創プランまちづくり補助金、校区振興協議会助成金など
- ・支出 → 会議費、事務費、実費弁償、保険（ボランティア）、備品購入費など

※運行バスの諸経費については、市負担とする。

※実費弁償 …… ボランティア（運転手・助手）半日 500円 1日 1,000円

糸島市イメージキャラクター
「いとゴン」

6. 実施に至る経緯

平成23年3月に福吉校区まちづくり推進計画の策定を行い、校区の現状や課題を整理して、10年後の将来像“自然豊かで 住み続けたいまち ふくよし”をキャッチフレーズとして、これからの校区まちづくりを進めることになりました。

福吉校区では、高齢者に関する対策が大きな課題であり、その取り組みの一つが「福吉校区自主運行バス」の取り組みであります。

公民館では、この地域課題に対する校区の取り組みに対して、協力・支援を行うこととなりました。

●福吉校区の課題（高齢化率が非常に高くなっていることからの課題）

- ①高齢化率が非常に高く、高齢化率対策が必要である。
- ②高齢者が活躍する場、集う場が少ない。
- ③バスなどの便が悪く、買い物など不便
- ④高齢者や子どもの見守り活動など、組織体制を整備

7. 事業の内容

- 自主運行バス検討委員会の設立 . . . 平成23年5月24日（16回開催）
- 運転機能講習（運転ボランティア） . . . 平成24年1月19日
- 自主運行バス試験運行開始 . . . 平成24年1月24日
- 自主運行バス協議会発足・本稼働 . . . 平成24年4月19日
（協議会メンバー）

- ・福吉校区各行政区長（自治会長）
- ・各行行政区長が推薦する者
- ・ボランティア運転手・スタッフ

（出発式）



（運行方法）

- 運営（規約・運営要綱・役員・委員など）に関する決定は、自主運行バス協議会で決定する。
- ボランティア運転手、助手 . . . 14名
※運転手は自動車学校で研修会を実施
- バス停の場所を各行政区で決定し、時刻表を作成する。
- 火、水、木の3コースに分け、1日午前と午後の1回運行する。
- 時刻表を全家庭に配布し、バスの運行開始と、乗車は予約者を優先することを周知する。



●平成24年度利用者の状況

【毎月の乗客数集計表】

（単位：人）

ルート	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計(4~12月)
鹿家・吉井	40	55	50	72	38	60	84	78	67	544
吉井上	57	96	66	85	96	104	121	70	94	789
吉井浜ほか	58	52	40	44	69	46	58	50	58	475
全ルート合計	155	203	156	201	203	210	263	198	219	1,808

【1便当たりの平均乗客数】

（単位：人）

ルート	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計(4~12月)
鹿家・吉井	2.50	2.75	3.13	3.60	3.17	3.75	4.20	4.88	4.19	3.58
吉井上	3.56	4.80	4.13	5.31	6.00	6.50	6.05	4.38	5.88	5.19
吉井浜ほか	3.63	3.25	2.50	2.75	3.45	2.88	3.63	2.50	3.63	3.13
全ルート合計	3.23	3.63	3.25	3.83	4.23	4.38	4.70	3.81	4.56	3.96

8. 事業の成果

(利用者)

- ・今まで利用者からのクレームはゼロ
→ボランティアの対応がいい(ボランティア精神・やさしい対応・臨機応変な対応)
- ・利用が楽しみ
→日頃、会えない人に会える・友達が増える・いい景色が見られ癒されるなど)
- ・買い物が楽しみ(自分で見て、好きなものが買える)
- ・サロンになっている。(笑顔が絶えない・元気になっている)
- ・仲間意識が強くなる。
→日頃、利用される方が乗れないと心配され、家まで見に行かれたりする。

(ボランティア)

- ・やりがいがある(楽しみ、喜んでもらえる)
- ・無理なくやっている。(ボランティアが多い)
- ・いつも安全運転に心掛ける。(事故等の心配、山道が多く狭いところが多い)

9. 今後の課題

(運営上の課題)

- ・利用者が増え、定員オーバーすることが考えられる。
- ・ボランティアの運転手に70代の高齢者が多く、新規登録者が必要である。
- ・運営費の収入として市からの補助金が大半であり、今後、市の補助金カットなど考えられ、予算の確保について検討が必要である。

(公民館の課題)

現在、運転手さんの手配や、予約受付、利用者集計など事務を公民館で行っている。
しかし、一市二町合併後、本来の公民館業務に加え、市長部局からの依頼業務が増え、対応が厳しく、運営協議会で専属の事務員を配置してほしい。
公民館としては、今後も運行の支援・協力は積極的に行っていく。

10. その他

公民館主催講座「高齢者教室の取り組み」の紹介

- 高齢者教室(体力測定)
- わいわいシニアクラブ(高齢者体験講座)

「わいわい、がやがや、ちょこっと何でも体験してみよう！」

- ・糸島市出前講座「交通安全教室」
- ・グラウンドゴルフ体験
- ・太極拳体験(8月7日)
- ・唱歌を歌おう体験
- ・文化を体験ー楽しいバスハイカー



11. 問い合わせ先 糸島市教育委員会 生涯学習課 糸島市立福吉公民館
〒819-1641 糸島市二丈吉井 4017 番地 TEL092-326-5501